

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【公開番号】特開2015-103822(P2015-103822A)

【公開日】平成27年6月4日(2015.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2015-036

【出願番号】特願2013-240478(P2013-240478)

【国際特許分類】

H 04 R 1/00 (2006.01)

【F I】

H 04 R 1/00 328 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月28日(2016.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

請求項1ないし4のいずれか一項に記載のマイクロホンスタンドであって、

前記第一および第二の筒状パーツのうち、前記マイクロホンスタンドの起立状態において上側に位置する筒状パーツの各側面には、前記マイクロホンの筐体角部が挿入される第三の切り込みが形成され、

前記マイクロホンは、矩形上の筐体台座を備えており、当該筐体台座の角部が前記第三の切り込みから外側に突き出すようにして、前記第三の切り込みが形成された筒状パーツの内側に配置される

ことを特徴とするマイクロホンスタンド。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

図3(A)～(D)に示すように、最上段連結パーツ1の上端部には、4つの側面14A～14Dのそれぞれに1つずつ、それぞれの側面14A～14Dの幅方向に沿ったマイクロホン保持スリット(切り込み)15A～15Dが形成されている。これらのマイクロホン保持スリット15A～15Dは、起立姿勢のマイクロホンスタンド100においてほぼ同じ高さに位置付けられ、互いに異なる稜線16A～16Dの位置から、それぞれの側面14A～14Dの軸心方向の中心線17A～17Dを超える位置まで伸びている。これらのマイクロホン保持スリット15A～15Dの内部には、それぞれ、最上段連結パーツ1の上端部内側に挿入された音響特性測定用マイクロホン7の筐体台座71の角部74A～74Dが挿入される。そして、音響特性測定用マイクロホン7のがたつきを防止するため、各マイクロホン保持スリット15A～15Dを囲む切り口(縁部)には、それぞれ、音響特性測定用マイクロホン7の筐体の形状に応じた位置に、音響特性測定用マイクロホン7の筐体が係合する切り込み12A～12Dが入れられている。例えば、本実施の形態においては、音響特性測定用マイクロホン7の筐体が四角錐形状を有しているため、各マイクロホン保持スリット15A～15Dを囲む切り口には、対応する側面14A～14Dの軸心方向の中心線17A～17Dの位置に、上方に向かう三角形状の切り込み12A～

12Dが入れられ、これらの切り込み12A～12Dに音響特性測定用マイクロホン7の筐体の各稜線部73が係合するようになっている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、最上段連結パーツ1には、最上段連結パーツ1の上端面（上端部側の開口を囲む縁部）からいずれか1つのマイクロホン保持スリット15A～15D（ここではマイクロホン保持スリット15A）につながるコード挿入用スリット（切り込み）18が、このマイクロホン保持スリット15Aの一方の端部が位置する稜線16Aに沿って形成されている。最上段連結パーツ1の上端部内側に音響特性測定用マイクロホン7を挿入する際、音響特性測定用マイクロホン7の所定の台座角部74Aから引き出されたコード72は、最上段連結パーツ1の上端面側からコード挿入用スリット18を介してマイクロホン保持スリット15Aに挿入される。このとき最上段連結パーツ1の上端面側からコード挿入用スリット18内にコード72をスムーズに導入できるように、コード挿入用スリット18両側の2つの側面14A、14Bの角部が、最上段連結パーツ1の上端面から稜線16Aに對して斜めに切り落とされ、コード挿入用スリット18のスリット幅が、最上段連結パーツ1の上端面側において広げられている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

最上段連結パーツ1の各稜線16A～16Dに対応する角部のうち、コード挿入用スリット18が位置する角部以外の角部（本実施の形態においては、コード挿入用スリット18が位置する角部に対向する角部）には、起立姿勢のマイクロホンスタンド100においてマイクロホン保持スリット15A～15Dよりも下方の位置にマイクロホン固定用スリット（切り込み）10が形成されている。このマイクロホン固定用スリット10は、最上段連結パーツ1の稜線16Cと交差し、この稜線16C両側の側面14C、14Dにおいてほぼ水平方向に伸びている。マイクロホン保持スリット15Aの内部に収容された音響特性測定用マイクロホン7の台座角部74Aから引き出されているコード72は、最上段連結パーツ1の稜線16Cに対応する角部からマイクロホン固定用スリット10内に挿入され、連結パーツ1の軸心に向けてこのマイクロホン固定用スリット10の両端部まで押し込まれる（図3（D）参照）。ここで、マイクロホン固定用スリット10は、音響特性測定用マイクロホン7のコード72の径よりもやや狭いスリット幅を有しており、マイクロホン固定用スリット10の切り口には、マイクロホン固定用スリット10の両端部の位置に、上方向に向かう切り込み13が入れられている。このため、マイクロホン固定用スリット10の両端部まで押し込まれたコード72は、これらの切り込み13内にしっかりとくわえ込まれる。これにより、コード72がこれらの切り込み13に把持されるため、マイクロホン固定用スリット10からのコード72の抜け出しが防止される。また、マイクロホン固定用スリット10の上下において、最上段連結パーツ1の稜線16Cに対応する角部が、マイクロホン固定用スリット10に対して斜めに切り落とされ、マイクロホン固定用スリット10のスリット幅が、最上段連結パーツ1の稜線16C側において広げられている。このため、最上段連結パーツ1の稜線16Cに対応する角部からマイクロホン固定用スリット10の内部に、コード72をスムーズに案内することができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、最上段連結パート1の各稜線16A～16Dに対応する角部のうち、少なくとも1つの角部（本実施の形態においては、稜線16Bに対応する角部）には、軸心方向に所定の間隔をおいて並ぶ複数の高さ調整用スリット19が形成されている。最上段連結パート1と中間連結パート2とのスライド操作によって中間連結パート2の連結用スリット（後述）22がいずれか1つの高さ調整用スリット19に位置合わせされた状態で、マイクロホン固定用スリット10を経由したコード72は、中間連結パート2の連結用スリット22から露出した高さ調整用スリット19内に挿入され、この高さ調整用スリット19の両端部まで押し込まれる（図4（C）参照）。ここで、高さ調整用スリット19の切り口には、高さ調整用スリット19の両端部の位置に、上方向に向かう切り込みが入れられている。そして、高さ調整用スリット19の両端部まで押し込まれたコード72は、中間連結パート2の連結用スリット（後述）22の切り口によって押圧されて、これらの切り込み内にしっかりとくわえこまれる。これにより、コード72がこれらの切り込みに把持されるため、高さ調整用スリット19からのコード72の抜け出しが防止される。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、それぞれの高さ調整用スリット19の上側において、最上段連結パート1の稜線16Bに対応する角部が、それぞれの高さ調整用スリット19に対して斜めに切り落とされ、それぞれの高さ調整用スリット19のスリット幅が、最上段連結パート1の稜線16B側において広げられている。このため、最上段連結パート1の稜線16Bに対応する角部から、いずれの高さ調整用スリット19においても、コード72を高さ調整スリット19の内部へスムーズに案内することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

その後、図3（B）に示すように、音響特性測定用マイクロホン7の筐体台座71の角部74A～74Dがマイクロホン保持スリット15A～15Dの一方の端部（稜線位置の端部）からマイクロホン保持スリット15A～15Dの内部に入り込む方向Aに音響特性測定用マイクロホン7を軸心周りに回転させて、音響特性測定用マイクロホン7の筐体台座71の側面をマイクロホン保持スリット15A～15Dの他方の端部の切り口に接触させる。これにより、音響特性測定用マイクロホン7の台座角部74A～74Dがマイクロホン保持スリット15A～15Dに保持される。このとき、図3（D）に示すように、各マイクロホン保持スリット15A～15Dの切り口に形成された三角形状の切り込み12A～12Dに音響特性測定用マイクロホン7の筐体の凸部（角錐形状の筐体の稜線部）が係合し、これにより音響特性測定用マイクロホン7のがたつきが防止される。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0031】

さらに、図3(C)に示すように、音響特性測定用マイクロホン7のコード72を、マイクロホン保持スリット15Aの位置から、音響特性測定用マイクロホン7を回転させた方向Aと同じ方向に巻きまわして、最上段連結パーツ1のマイクロホン固定用スリット10内部に押し込む。これにより、図3(D)に示すように、音響特性測定用マイクロホン7のコード72は、最上段連結パーツ1のマイクロホン固定用スリット10の両端部にくわえこまれた状態で固定される。ここで、音響特性測定用マイクロホン7の筐体台座71の側面をマイクロホン保持スリット15A～15Dの他方の端部の切り口に押し付ける方向Aに音響特性測定用マイクロホン7のコード72が巻きまわされているため、音響測定用マイクロホン7の逆まわりが阻止されて、マイクロホン保持スリット15A～15Dからの音響特性測定用マイクロホン7の脱落が防止される。

## 【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0032】

図4(A)に示すように、最上段連結パーツ1の下端部を中間連結パーツ2の上端部内側に軸心方向に挿入して、中間連結パーツ2の連結用スリット22を、マイクロホンスタンド100の目標高さに応じた高さ調整用スリット19に位置合わせし、この高さ調整用スリット19を露出させる。そして、最上段連結パーツ1のマイクロホン固定用スリット10から引き出された音響特性測定用マイクロホン7のコード72を、中間連結パーツ2の外側から、連結用スリット22を介して、中間連結パーツ2内側の最上段連結パーツ1の高さ調整用スリット19内部に押し込む。これにより、図4(C)に示すように、最上段連結パーツ1のマイクロホン固定用スリット10に固定されたコード72が、中間連結パーツ2の外側から連結用スリット22を通過して、中間連結パーツ2内側の最上段連結パーツ1の高さ調整用スリット19に固定されるため、中間連結パーツ2に対する最上段連結パーツ1のスライドが阻止される。

## 【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0045】

図5(C)に示すように、最上段連結パーツ1Aのいずれの高さ調整用切り込み19Aに中間連結パーツ2Aのスリット22Aが位置合わせされた状態において、スリット22Aにより切断された中間連結パーツ2Aの角部を、スリット22Aよりも下側の位置で、最上段連結パーツ1Aの高さ調整用切り込み19Aの内部に向かって押し込むと、中間連結パーツ2Aの側面24B、24Cが2本の折り山ライン25で折れ曲がる。これにより、スリット22Aの縁部が中間連結パーツ2Aの内側に突き出して、中間連結パーツ2Aの角部が最上段連結パーツ1Aの高さ調整用切り込み19Aに挿入される。これにより、最上段連結パーツ1Aの高さ調整用切込み19Aの切り口のV字状の谷部に、V字状に折れ曲がった2本の折り山の裏側が係合するため、最上段連結パーツ1Aと中間連結パーツ2Aとがロックされる。ここでは、最上段連結パーツ1Aに高さ調整用切り込み19Aを高さ方向に複数形成し、中間連結パーツ2Aの上端部にスリット22Aを一つ形成しているが、これに代えて、中間連結パーツ2Aにスリット22Aを高さ方向に複数形成し、最上段連結パーツ1Aの下端部に高さ調整用切り込み19Aを一つ形成して、最上段連結パーツ1Aの高さ調整用切込み19A内に中間連結パーツ2Aのいずれかのスリット22Aの縁部が折り込まれるようにしてよい。

## 【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

100 : マイクロホンスタンド、 1、 1A、 2、 2A, 3 : 連結パーツ、 4A、 4B : ベースパーツ、 5 : 支柱部、 6 : ベース部、 7 : 音響特性測定用マイクロホン、 10 : マイクロホン固定用スリット、 12A ~ 12D : 切り込み、 13 : 切り込み、 14A ~ 14D : 側面、 15A ~ 15D : マイクロホン保持スリット、 16A ~ 16D : 連結パーツの稜線、 17A ~ 17D : 連結パーツの側面の中心線、 18 : コード挿入用スリット、 19 : 高さ調整用スリット、 22、 29、 32 : 連結用スリット、 24A ~ 24D : 連結パーツの側面、 25 : 折り山、 26A ~ 26D : 連結パーツの稜線、 41 : ベースパーツの差込部、 42 : ベースパーツの脚部、 71 : 音響特性測定用マイクロホンの筐体台座、 72 : 音響特性測定用マイクロホンのコード、 73 : 音響特性測定用マイクロホンの筐体の稜線、 74A ~ 74D : 音響特性測定用マイクロホンの筐体台座のコーナ部